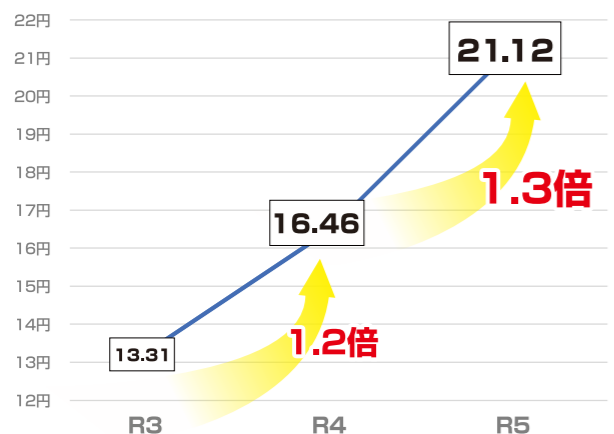




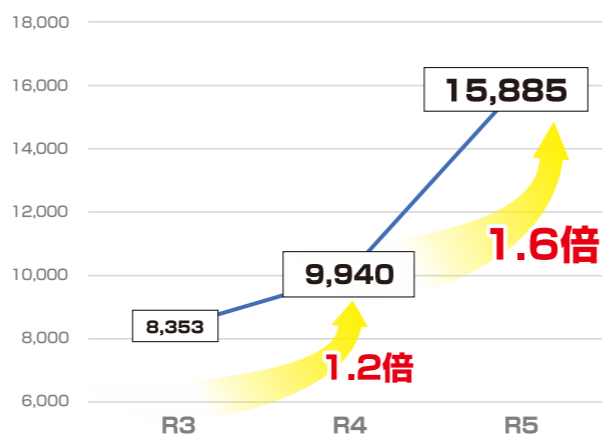
## 新庄土地改良区の電気料金は どうなっているの？

令和5年度清水揚水機場特別高圧電気料金は、ロシアのウクライナ侵攻等を起因とする電力料金の急激な高騰の影響を受けたものとなりました。支払総額は昨年と比べ約1.6倍の1億5,885万円です。今後、現在の世界的エネルギー問題が劇的に改善されない限り、電気料金の高止まりが想定されます。

清水揚水機場特高電気使用料金年平均単価（5月～8月）  
[単位：円]



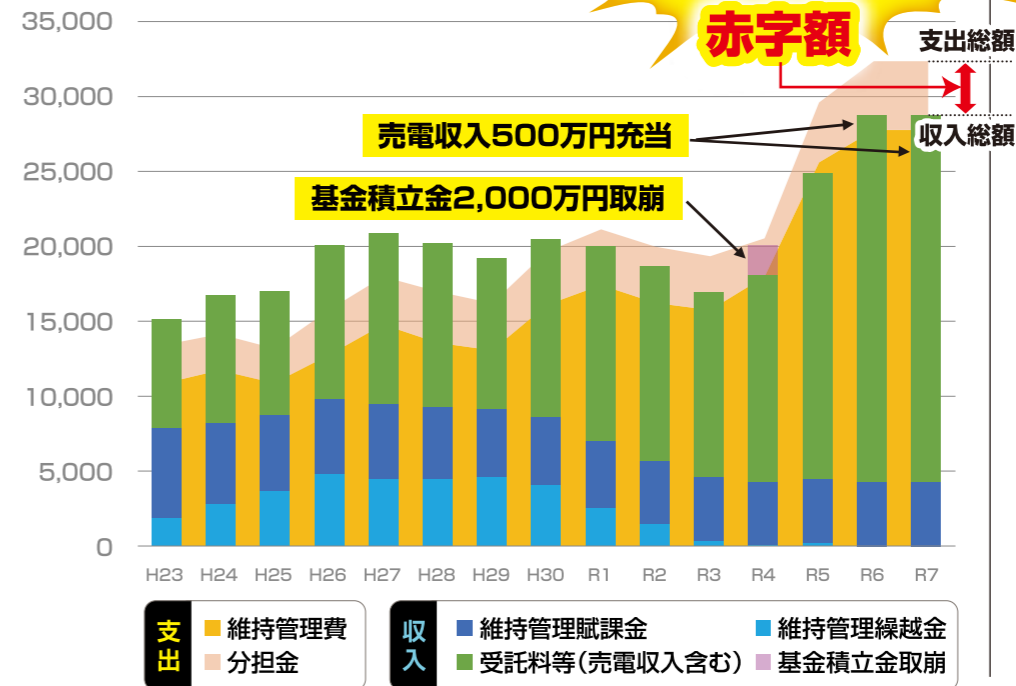
清水揚水機場特別高圧気料金総額  
[単位：万円]



## このままでは毎年赤字 3,100 万円計上

### 年度別収支状況実績と予測

[単位：万円]



**今後の予測**

令和7年度以降、毎年生じると予測した赤字額3,100万円は、繰越金実績と今後見込まれる受託料において、令和5年度相当の電気料金を支出したと仮定し、試算した数字です。昨今の社会情勢の変化等によっては、試算した不足額の変動も想定されます。



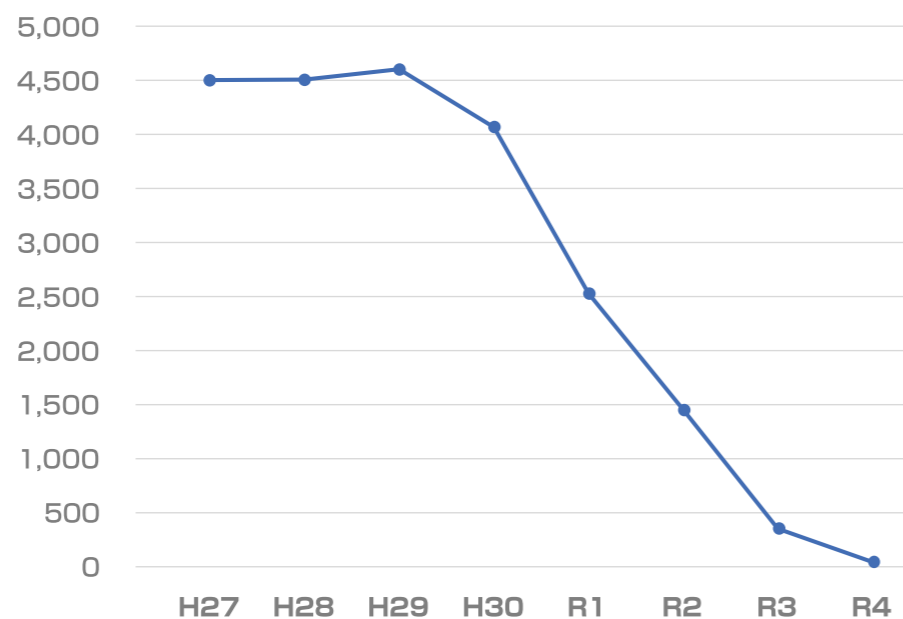
## 電気料金支出が増大した結果、繰越金大幅減少

### 繰越金減少への対応

電気料金支出が増えた結果、次年度への繰越金が大幅に減少しました。右図より、令和4年度に維持管理費繰越金は底をつき、やむを得ず施設の更新事業に備えた基金積立金2,000万円を取崩し対応しました。

### 維持管理費繰越金の推移

[単位：万円]



## これからどうなる？

従来に引き続き、以下の三本柱で進めます。

- ① 更なる節水節電の啓蒙と経費の節減
- ② 各関係機関への事業費増額要請の継続
- ③ 小水力発電の売電により維持管理費軽減

しかしながら、これらの取り組みにより収支の赤字幅を縮めることはできませんが、赤字は解消されません。そのため、現在①～③を基本とした上で、**維持管理費賦課金単価改正**が検討されています。